

## 普及支援策等の取りまとめ方法について（案）

普及支援策等の取りまとめに当たっては、(1)自律型システム、(2)車車間通信システム、(3)路車間通信システム、(4)人車間通信システム及び(5)シームレス通信システムの5つの区分ごとに、当初各社から提出された今後の課題を参考に、課題内容を精査し、それらの課題を解決するために必要となる具体的な普及支援策について、支援する主体、支援を受ける主体、支援策の概要、支援が必要な理由、支援時期、現在の支援状況等が明確になるように、以下の表のように取りまとめることとしたい。

## 〈取りまとめ例〉

	各社から提出された今後の課題	具体的な普及支援策
(1)自律型システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>①79GHz 動作を実現する半導体デバイス、回路技術の開発</li> <li>②高精度検知方式の検討</li> <li>③他システム（路車間、車々間通信）との連動システム検討</li> <li>④法制化などによる普及促進支援</li> <li>⑤技術成熟度に応じた標準仕様の策定</li> <li>⑥適正コストの機器実現</li> <li>⑦ユーザ満足度向上と普及</li> </ul>	
(2)車車間通信システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>①道路インフラの普及及び展開</li> <li>②車載機の普及（ユーザ満足度の向上、機器の低廉化等を含む）</li> <li>③国際的に整合の取れた規格の開発</li> <li>④技術開発（映像の品質確保、セキュリティ対策、センサ技術、干渉対策、インターフェース開発等）</li> </ul>	

<p>(3) 路車間通信システム</p>	<p>①道路インフラの普及及び展開          ②車載機の普及（ユーザ満足度の向上、機器の低廉化等を含む）          ③国際的に整合の取れた規格の開発          ④技術開発（映像の品質確保、セキュリティ対策、センサ技術、干渉対策、インターフェース開発等）</p>	
<p>(4) 人車間通信システム</p>	<p>①技術成熟度に応じた標準仕様の策定。          ②適正コストの機器の実現          ③人・地物に設置するレーダー・通信統合装置の普及</p>	
<p>(5) シームレス通信システム</p>	<p>ITS に関して VHF 帯を使ったシステムは前例が無く、導入に当たっては通信システムや機器などの世界に先駆けた新規開発が必要となる。</p>	